

高教組だより

執行委員長 橋元 陽一

今年度(5/1)谷村義新書記長を迎えての体制で始まり、六月一九日に定期大会を終え、一学期末を迎えています。

大儀もない米英軍を中心に強行された「フク」侵略戦争が長期化する中、六月末に「フク」主権が形式的に移譲されました。アメリカに追随する小泉政権は、引き続き駐留する米軍を「人道支援」と称して、自衛隊を参加させることを閣議決定しました。これは明らかに「〇一年国合」政府自身も確認している遺憾行為に当たります。また破綻が明らかになった年金制度「改革」法案を強行採決するなど、国民のいのちと暮らしの破壊を繰り返しています。三月のスペインでの総選挙のあついで、七月一日投票の参議院選挙で、鉄槌を下す闘いが求められています。

五月「四日」は「新しい人事評価制度」の検討委員会が開かれ、傍聴しました。昨年の指定校での課題を十分分析検討することなく、今年は今市町村で小・中学校一校ずつ、高校一校、障害児学校一校に試行校を拡大しています。今年の定期大会では、山田養護、東、宿毛の高教組分会から、職場全体の取り組みとなるように職員会議で議論し、「自己評価シート」作りをオンラインにして、集団的な取り組みを展開している報告を受けて集中討論を行いました。来年度全校での試行実施を踏まえ、管理統制を許さない重大な取り組みとして、試行校の動向などを高

某月某日 坪井 幹之

— 独居老人の一日 —
五時起床。朝のテレビニュースを見て、朝食。その食材は、納豆、九葉の茶、パン、バター、いちごジャム、紅茶。大量の砂糖、牛乳、リンゴ。パンはもとも安価な「リトルカンパニー」九片・二二〇円。食後、降圧、前立腺肥大予防、ビタミンE、カルシウムの四薬剤を服用。

食後の片付けを済ませ、チリ出しのあと、散歩。今日は観月坂団地のコースである。いざという時に備えて杖を持つ。テロのような不穏な動きには、武徳会二段の腕前に、小説「蟬しぐれ」で学んだ秘剣村雨の業で立ち向かうつもり。やや時代小説の読み過ぎ

教組情報で知らせたり、支部で全県での学習交流会などを展開していきます。

また定期大会は、従来にない多くの若い代議員の参加で、活発な討論が行われました。職場の多忙な実態、県議会総務委員会、県立学校視察での「君が代」斉唱を強要する場面があったこと、県立学校敷地内禁煙に関すること、幡多高校生セミの取り組み、AD・ADHDなどの子どもへの特別支援教育「関する」となっていて、職場での実態や取り組みの発言が相次ぎました。

教員採用制度に関しては、臨教のたたかいで全面的な本人関与が実現しています。しかし明文化された採用基準がないことが新たに判明し、県教組と共に採用制度検討委員会をつくり、具体的な提言活動を進めています。

六月は、義務教育費国庫負担制度堅持と「1」の「ネット」活動の二つの課題を、五市町村教育長の懇談会を展開しました。

今年の夏は全教の定期大会「千葉」全国学習交流集会(千葉)開催、日本母親大会「東京」など多彩な活動が展開されます。高教組夏季学習会は、池川町の宝来荘で八月八・九日に行います。多忙な職場の実態を把握し、参加と共同の学校「NPO」の展開を切り拓く学習討論を行いたいと思います。また支部「J」人事評価制度の学習交流会も企画されます。

忙しいからと、時間を削ぐの出して学習会を取り組むと呼びかけています。

か。実は平衡感覚の失調に備えて、「転ばぬ先のステッキ」である。

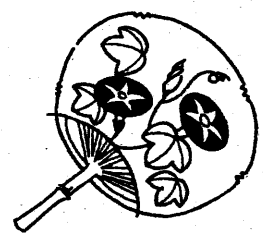
小一時間(約八千歩)の散歩のあと、庭の水遣り。博物館に疎いので草木の名前も知らないが、伴侶が遺したもので止むなくやっている。次第に苦役となってきた。

そのあと新聞を読む。こむつかしい記事は後回しにして、まずは拾い読み。

続いて買いたものに出掛ける。スーパーで夕飯の副食を、金高堂支店で文庫本を購入。

十一時、昼食。朝が早いので結構食欲あり。鯛と大根の煮付けを肴に、飯を二杯食す。正午のニュースを見たあと、一時頃まで昼寝。

頭の冴えたところで読書。ソファに寝転んで二冊の本



川柳 小澤 幸泉

待晨集 ③

— 祈り・遣す・夜明け —

ベレー帽を主役に老いの花の冥汗を血に変える政治が恐ろしい国家には要らぬ寿命が又延びる憲法が変色されて読みづらい明日生きるつもり薬を整える

をめぐる。寝転んで読むということになる、あまり理屈っぽいものは駄目で、主として小説が軽い読みものになる。この日手にしたのは、池波正太郎の「浮沈」と本多勝一の「アメリカを見よ」である。前者は作者の代表作の一つ「剣客商売」シリーズ最後の小説で、作者はこれを書きおえて、惜しくも世を去っている。享年六十七歳。希しくもこの小説では、主人公秋山小兵衛も六十七歳である。もう一冊目の本は読書会の課題本である。著者は、世界を股にかけて取材、多くの本を著わしている有名なジャーナリストで、この本ではイラク問題を中心に、アメリカ帝国主義を痛烈に糾弾している。ワシントン大統領以後二百年にわたって、他民族を侵略し続けたアメリカの本質を暴いている。

四時、夕食。早すぎると、お笑いめされるな。いまや若い、性と成った。

七時より地域の会に出席。耳が遠いので話合いの内容はチンプンカンプンであるが、小人数であるので「枯木も山の賑わい」に参加している。

帰宅後、直ちに就寝。夢は枯野を駆け巡らない。月並みに夜は更けていく。

この雑文は、大分依然に書きかけていたものである。今期は書くべき題材が思い浮かばず、貴重な紙面をこの書きかけ文でお茶を濁した。ご容赦を乞う。

短歌

痛み 叶岡淑子

取り換えてしまいたいほど五十肩のうずく痛みに夜々を明かしぬ七十年わが酷使せる右腕の声なき軋み一つの主張

巷には痛みを強いる声高しこの国いよよ生き難きかな

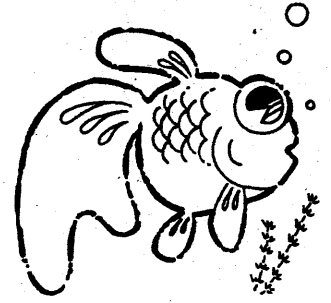
雑詠 榊原忠彦

二十分機械の合奏お化け屋敷おどろおどろしくも面白かりき(MRIを受けて)

ほととぎす鳴くに耳止む梅雨晴れ間 宮城二の書読みあげし午後サミットでも増す増す軽し小泉首相 写るテレビのチャンネルを切る

『評伝片山徳治』を読む 山本晶子

実たる片山徳治評伝を読む 評伝徳治より立ちのぼりくる清らかなる精神世界に包まれていき若き頃『ジャン・クリストフ』を読みしかかなロランを長く忘れておろりき



訃報

島崎良一さんが5月17日逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。

個人情報

田村勉夫さんが日赤病院に入院治療、上田初男さんが高知市民病院に入院治療を受けられています。梶原祥二さんが入院治療後退院されました。